※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）古典α	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『精選　古典探究』（大修館書店）						
副教材等	『読んで見て聞いて覚える　重要古文単語 315　4 訂版』（桐原書店） 『九訂版 読解をたいせつにする 体系古典文法』（数研出版） 『三訂版 プログレス 古文総演習 標準編』（いいずな書店） 『改訂版プレミアムカラー国語便覧』（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

有名な古文の作品に親しむとともに、正しく理解するために、語彙力や文法の知識をしっかり身につけてください。また本文を何度も音読し、作品の面白さを味わい、古人のものの見方、感じ方、考え方に触れ、心を豊かにしましょう。復習として、授業内容を振り返って、覚えるべき知識は覚えましょう。古文単語は単語の本を使って、少しずつ覚えていきましょう。問題集を解くことによって、実力を高めていきましょう。

2　学習の到達目標

⑴生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
⑵論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
⑶言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	説話を読み、古文の読み方の基礎を確認する ［教材］ 十訓抄「大江山」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート ノート 小テスト
	歌物語における和歌の役割や修辞法を理解する ［教材］ 大和物語「をばすて山」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：歌を味わい、男の心情について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート ノート 小テスト
	随筆を読み、筆者の感性を読み味わう ［教材］ 枕草子「大納言参り給ひて」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：清少納言の価値観について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート ノート 小テスト
2学期	日記を読み、作者の心情を読み取る ［教材］ 更級日記「東路の道の果て」「物語」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート ノート 小テスト
	物語を読み、登場人物の心情や人物像を読み取る ［教材］ 源氏物語「光源氏誕生」「小柴垣のもと」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート ノート 小テスト
3学期	物語を読み、登場人物の行動から人物像を読み取る ［教材］ 大鏡「花山天皇の出家」	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	定期考査 ノート ワークシート	定期考査 ノート ワークシート	ワークシート ノート 小テスト

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※令和４年度以降入学生用
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　　）時間
・読むこと　…　（　７０　）時間